

■ 令和5年度 第2回 いきいき西区ささえあいプラン推進委員会

日 時：令和5年8月23日（水）午後2時～

会 場：坂井輪健康センター1階105会議室

◇次第1 開会

（須貝係長）

定刻となりましたので「令和5年度 第2回 いきいき西区ささえあいプラン推進委員会」を始めさせていただきます。本日、進行を務めさせていただきます西区健康福祉課地域福祉担当係長の須貝でございます。よろしくお願いいたします。

本日の委員会は、コミュニティ中野小屋 兒玉委員、山田校区ふれあい協議会 阿部委員、真砂小学校区コミュニティ協議会 佐野委員から欠席の連絡がありましたのでご報告いたします。

なお、後日、会議録を公開するため、一部録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。はじめに、佐藤委員長よりご挨拶をお願いいたします。

◇次第2 あいさつ

（佐藤委員長）

皆さん、こんにちは。委員長の佐藤でございます。本日はお忙しい中、第2回推進委員会にご出席いただきまして大変ありがとうございます。今日はグループワークを予定しております。各地区、各地域の現状と課題について情報共有させていただき、今後の地域づくりのための意見交換等をお願いしたいと考えております。限られた短い時間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

◇グループワーク 地域別計画の報告

（須貝係長）

まず、私から、「地域福祉活動計画」について、「第3次いきいき西区ささえあいプランの概要版」の内容に沿って簡単に説明をさせていただきたいと思っております。

いきいき西区ささえあいプランには「新潟市西区地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」があります。名前は似ているのですが、別物でございます。西区の「地域福祉計画」とい

うのは主に行政側と社会福祉協議会の事業で、どのようなささえあい活動、地域福祉について今後どうしていきたいかという計画です。その昨年度実績について、第1回的时候に行政と社会福祉協議会のほうから報告をさせていただきました。今回は、「地域福祉活動計画」というものについて皆様からお話しいただくことになるのですが、ではこの「地域福祉活動計画」とは、というところなのですけれども1ページをご覧ください。一番下に「地域福祉活動計画とは」というものがあります。少し読み上げますが、「地域福祉活動計画」とは、社会福祉協議会が中心になって市民、福祉関係者等と共に策定する民間の計画です。この計画は地域住民による地域のための計画であり、社会福祉協議会のための計画でもありませんし、コミュニティ協議会だけのための計画でもありません。「地域福祉計画」が理念計画であるとすれば、「地域福祉活動計画」は行動計画であるといえます。こちら「地域福祉活動計画」というのは、地域の方々がどうしたいということを考えていただく計画ということです。

ちなみに2ページに書いてありますが、「計画期間について」というものがあります。今お持ちのものは第3次計画で、令和3年度から令和8年度の計画（6年間の計画）となります。令和2年度、一つ前の年に地域の皆様から集まっていたいて、地域の計画を策定していただいたということです。そして6年後目指す姿を思い描いていただいた計画となっております。

では、続いて次の4ページです。「地域福祉活動計画（地域別計画）の策定について」とあります。この「地域別計画」というのは、第2次計画では「地域福祉活動計画」を「地域別計画」と呼んでいたのがカッコ書きで書いています。「地域福祉活動計画（地域別計画）」の策定のため、西区の15地区（小学校区・中学校区）ごとに地区懇談会を開催しました。地区代表のいきいき西区ささえあいプラン推進委員やコミュニティ協議会のみなさんを中心に、各地区で2～4回の話し合いが行われました。アンケートを取る方法、コアメンバーでの話し合いを重ねる方法など様々な工夫で準備をし、懇談会で地域の良いところや課題を話し合い、それを受けての目標、具体的な取組を決めて策定されましたとあります。こちら、策定の年が令和2年度という、ちょうどコロナが始まった年でした。当時、会議なども全然できなくて、当然、この会議も中止になったりしておりました。そういった中で、皆様から集まっていたき、計画を策定してもらいました。本来であれば、コミュニティ協議会の人以外にも、例えば民生委員や子どもの活動をしている方々、さまざまな人たちを集めて会議を開きたかったのですけれども、当時の事情がそれを許さず、コミュニティ協議会の役員の人だけとか、少数のメンバーだけとか、あるいはそれすらも集められずに、書面か何かで皆さんから出していただいたものを取りまとめて作った当時の事情がありまして、皆様の中で

も、こういう計画は知らなかったという方もいるかもしれませんが、何卒ご理解いただければと思います。

そして、皆様から作成していただいたものが、次のページになります。内野小学校区のもの为例として説明させていただきますが、左のページは、各地区の特色、特徴を列記していただいた中で、この地区のよいところや課題を出していただきました。その課題や、よいところも含めて、では6年後この地区をどうしていきたいかということ話し合っていたのが、右のページということになります。一番上、目標・目指す姿、こんなまちにしたいというものがスローガンということで、大目標です。内野の地域であれば、「みんなでつくろう！思いやりと支え合いのまち うちの」というものが大目標ということになります。その大目標に向けて、ではどういことをやっていくかというのが、その下、中目標になります。目標を達成するために、具体的な取り組みとしまして、①から③が書いてあります。そして、さらにその①が中目標だとすれば、その中目標を達成するために、ではもっと具体的に何をするか、こういうことをしたい、もしくはしている、これを継続したいというようなそれぞれの活動を箇条書きで挙げていただいています。

4月から替わった方もいらっしゃると思いますので、説明させていただきました。本日は、これをもとに、どういう進捗であるかとか、どういう課題があるのかとか、今後さらにどうしていきたいのか、お話ししていただければと思います。私からは以上です。

では、続いて進行を社会福祉協議会の相田さんからよろしくお願いします。

◇次第3 グループワーク 議題(1) ささえあいプラン地域別計画の報告

(相田主事)

ここからの進行を務めさせていただきます、西区社会福祉協議会の相田と申します。よろしくお願いします。

では、次第に沿って進めさせていただきます。まず、ささえあいプラン地域別計画の報告(地区ごと)について、こちら、委員の皆様の各地区で、昨年度行われた懇談会の報告をしていただきたいと思います。皆様のところにお配りしたA3の内野小学校区から始まっているシートが昨年度の懇談会をもとに作成されたシートになっております。内野から順番に、各地区3分くらいずつで紹介していただければと思います。3分経ちましたらベルを鳴らせていただきますので、よろしくお願いします。本日欠席している中野小屋、真砂、山田校区は、社会福祉協議会の鍋谷から紹介していただければと思います。

まず、内野・五十嵐まちづくり協議会の高橋様から、よろしくお願いします。

(高橋委員)

内野小学校区の委員をしております高橋と申します。よろしくお願いいたします。

内野小学校区では、先ほどもありましたが、「みんなでつくろう！思いやりと支え合いのまち うちの」というのが大きなスローガンとなっております。そして大きな柱が三つありまして、昨年度の懇談会では、特に②の「話し合い・助け合いによる地域力アップ」というところを重点的に話し合いさせていただいたように記憶しております。

令和4年度の取組としては、ゴミ出しのことであるとか、災害時の助け合いの仕組みづくりなどを具体的に実践しているというか、仕組みをつくっている自治会などがありまして、そのあたりを詳しく説明していただきました。ただ、やはりコロナがありまして、ここに出ている目標である「顔の見える関係づくり」や「話し合い・助け合いによる地域力アップ」、「担い手の発掘・育成」というのは、非常に足踏み状態だったのではないかなという感想を皆さんもっておられました。特に、例えば地域の担い手の発掘というところで言いますと、例えば各自治会のこども会はとても活動している。また、老人会も活動している。その間を埋める子育て世代といえますか、私を含めたような年代が実際に自治会にかかわるという機会が、コロナの中さらに難しくなってきたなということを皆さん感じていらっしまったようです。一度コロナで止まってしまったような活動が、令和5年度、再度再開するということに当たって、いろいろと懸念されるようなことも出されておりました。ただ、内野小学校区では、先ほどもご説明いただいたのですが、新潟大学もありまして、多種多様な年代と、昔から内野に住んでいる人たちだけではないという構成員がありますので、そのあたりをうまく活かして「顔の見える関係づくり」、「話し合い・助け合いによる地域力アップ」、そして「地域活動の担い手の発掘」というものを、地元に住んでいる人たちだけではなく、大学生だとか、外から来た視点を大いに取り入れてやっていくということも必要ではないかということは、私個人的にも会合に出て感じたところでもあります。今年度重点的に取り組んでいきたいことというのが右側に出ていますが、コロナでなくなったところを取り戻すということが第一目標かなと思っています。

(相田主事)

ありがとうございました。

続きまして、西内野コミュニティ協議会の大島様、よろしくお願いいたします。

(大島委員)

西内野コミュニティ協議会の大島です。今年度引き継いだもので、わからないところもあ

るのですが、いろいろな会議、あるいは行事に参加してみて、一つ一つを見ていきますと、なるほど、けっこう頑張っているなど、そのような感じはしております。

まず、コミセンでのフリースペースにテーブルを置きました。時々学生やご近所の方がお弁当を食べにきたり、話をしたり、非常にいいスペースになっているかなと思っております。

あと、いろいろな行事の中では、西内野の花火大会を昨年行いましたが、今年はさらにそれを充実ということで、地域の各企業に、あるいは一般の方から協賛をいただきまして、小学生がデザインをした花火を上げました。メッセージを会場で紹介しながらスターマインを上げたことで、地域の方々が、小学校ともども地域を活性化していこう、応援していこうという気持ちが見えて、非常に嬉しかったです。来年もぜひまた取り組んでいきたいと思っています。

また、健康福祉のほうでは健康教室を開催いたしました。

さらには、今年がちょうどコミセンの30周年ということで、いろいろなメニューの中に30周年記念イベントを企画しています。コミュニティ協議会の吹奏楽団があるのですが、これは7月27日に演奏会を行います。それから気象予報士の森朗さんをお招きして記念講演をやる予定です。

また、地域カレンダーを作成しています。コミュニティ協議会主体で大きなお祭りはなかなか難しい、各自治会から引っ張ってくるわけにいかないの、各自治会にお祭りをやってくださいと。それをサポートして、各地域カレンダーの中にどこがどういう行事をやって、どういうお祭りをしているということを皆で情報共有しまして、いろいろな形で地域のいろいろな情報公開をやりました。

ただ、まだまだ親と子ども、家族一緒に何か参加していろいろな行事をやる、ボランティアをやる、そういうものが少ないなと感じます。

特に防災、実際に避難してきた人たちがいろいろな作業をするということはなかなか難しいと思っています。それから、避難所委員会を作っても、その役員の方が来るというのはなかなか難しい。一番力になるのは、私自身、小学校6年から中学3年生だと思っています。今考えている段階ですが、これからいろいろとやっていきたいと思っています。世代を越えて支えあう、安心・住みよい地域づくり、これを目標にして頑張りたいと思います。

(相田主事)

ありがとうございました。

次に赤塚ですが、その前に中野小屋地区について児玉委員に代わって説明します。

(鍋谷課長補佐)

中野小屋中学校区では、「世代をこえて つながるまち 中野小屋」をスローガンに取り組んでいます。こちらの地区は、「親子三代ふれあい会」という、もう何十年も続いている大規模なお年寄りから小さな子どもまで集まる多世代交流のイベントがあるのですが、これはコロナで3年間できていません。また、「瑞穂祭」という地域の文化祭もあったのですが、こちらもコロナでストップしています。令和4年度は、実施予定で「親子三代ふれあい会」について保育園や小学校、中学校の代表、地域の方が集まって今年はどうしようという話し合いをしたのですが、最初は開催する予定だったのですが、やはりコロナの波がきてしまって開催できませんでした。その代わりに、集まっての開催はできませんでしたが、訪問する形で配布を行ったそうです。

左側の④に地域の茶の間がいくつか載っていますが、こちらは、コロナ禍の間に誕生した地域の茶の間です。これも継続しておりまして、月1回、月2回とやっているそうです。

令和5年度、右側ですけれども、今年こそは4年振りに「親子三代ふれあい会」を実施しようということで動いております。また、「瑞穂祭」も復活しようと言っております。また、これもコロナ前から言っていたのですけれども、民生委員と自治会長の情報交換会をしようという話が出ていまして、できれば飲み会つきで今年こそやりたいとおっしゃっていました。

また、資料にはないのですが、夏休み、冬休みの宿題を仕上げる会というものがありまして、小中学校の宿題を仕上げて、また交流しようというイベントがあるのですが、夏休みは準備が間に合わなかったのですが、今年は冬休みに向けて今企画が進んでいるところです。中野小屋は、以上です。

(相田主事)

ありがとうございました。

続きまして赤塚中学校区の伊藤委員、お願いします。

(伊藤委員)

よろしく申し上げます。赤塚中学校区は、目標・目指す姿を「お互いの地域が支え合い、ひとつになろう！」ということでスタートしております。というのは、赤塚中学校区は大きく分けて四つの地域がありまして、それぞれが活発に活動しているのですが、お互いに地域の様子が分からないということで、この目標・目指す姿にしました。

コロナ禍でいろいろなことができない中ではありますが、民生委員が中心となって、未就

学児の親子が集まれるみんなの広場「あひるの子」というのを2年前からスタートして、今も継続しております。

コミュニティ佐潟の会長が替わったことをきっかけに、地域がそれぞれやっていたことをコミュニティ協議会が中心になってやっという方向に今転換しているところです。そういう中で、昨年、コミュニティ協議会にまちづくり委員会というものを発足させて、そこが中心になって四つの地域の代表、それから各組織の代表、子どもの世代の代表として中学生、また農村地帯が主の地域でありますので、農家の方の代表で集まって、このまちを、このコミュニティ協議会をどうしていくかという話し合いをしました。

そういう中で今年度取り組んでいきたいこともこちらに書いてあるのですが、やはり農家の方に参加していただきたいという意見が大きく、1番目のところに若い農家と連携してというようなことを載せました。

「多世代の顔の見える関係づくり」は、今も続いている「あひるの子」の継続をしていきます。

また、今年度もまちづくり委員によるいろいろな代表の話し合いをすることになっております。話し合いをして、何か具体的にというところまではいっていないのですが、この話し合いを続けていく中で何か生まれていくのではないかということで、今取り組んでおります。

(相田主事)

ありがとうございました。

続きまして、次のページ、坂井輪中学校区です。桑原委員、お願いします。

(桑原委員)

桑原でございます。よろしくお願いたします。私も今年度からこの委員になりましたし、坂井輪中学校区でも、今年度から初めて中学校区のメンバーというのでしょうか、入ったものでございますので、多分、今日初めてだと思うのです。どれを報告していいのか分からないのですが、資料に基づいて簡単に報告をさせていただきたいと思っております。

スローガンは「みんなが主役 つながれ・つながるまち さかい輪」でございます。その目標、スローガン達成のために3点ございまして、「地域に関心を持ってもらい、つながりを強める」、これにつきましては、広報紙やSNSなど情報発信を工夫して、子どもを含めたあらゆる世代に地域活動をPRして、地域とのつながり、きっかけづくりを行っていくこと。2点は、地域食堂や健康教室、趣味の講座など、誰もが参加できる場づくりを行って

くこと。3点目は、高齢者を見守り支えるための友愛訪問活動や緊急情報キッドなどの配布を通じて、地域内のコミュニケーションを図るということです。

「3世代が交流し、支え合う地域づくり」、これにつきましては、3世代がふれあい、交流できる会を実施し、地域の大家族のような関係づくりを行っていくこと。子ども、障がい者、高齢者なども参加できる楽しいスポーツイベントや防災訓練を実施します。それから、高齢者や認知症の方を地域みんなで支える仕組みづくりと、地域全体への啓発活動、あわせて、子どもに対して地域の一員であることを意識してもらえるような啓発活動を行うとともに、地域に貢献できるように、学校とともに取り組みを進めていきたいと考えています。

「坂井輪中学校区全体の地域の力を高める」という点では、まず、まちづくり協議会、各小学校区エリア、個々の自治会、それぞれの課題を認識し、解決に向けて取り組む。そして、自治会の情報交換や助け合いのしくみづくりの勉強会を行い、自治会活動の活性化を図る。また、小学校区対抗の健康づくり行事など、地域の結束力を高める。大学生との交流により、地域行事の力になってもらうとともに、情報発信を広げていきます。

簡単ですが、以上、報告させていただきます。ありがとうございました。

(相田主事)

ありがとうございました。

続きまして、坂井輪小学校・小新中学校区です。円山委員、お願いします。

(円山委員)

坂井輪小学校・小新中学校区まちづくり協議会の副会長の円山でございます。よろしくお願いします。

今日は、令和4年度の取組につきまして5つありますが、その中で主なものをお話したいと思います。まず、「オータムフェスタ」でございますが、去年、初めて開催しました。約3,000人が集まったのですが、坂井輪小学校の体育館を借りまして、そこで坂井輪小学校の器楽部の演奏、ジャグリング、イタリアンの販売を行い、非常に盛り上がりました。また、こども食堂がありまして、今まで4、5回活動を行っております。大体夏休み、冬休み、春休みを中心にしてやっております。それから、「パラダイス小新」でございますが、これは、農園を開催して、1区画1,000円で貸出しまして、いろいろなものを作ってもらっております。

お茶の間「らっくり」ですが、去年9月から始め今年も実施しました。運動指導員にお願いし、リラックス運動や頭の体操、レクリエーションをしております。

それから3番目の、地域で開催した「認知症に向き合う」講演ですけれども、これは、地域医療センターの先生に来ていただきまして、「認知症に向き合う」ということで講演会を開催いたしました。これにつきましても40名くらいが参加しまして、非常にいい講演でした。

それから、あんしん・安全のほうですが、新1年生に毎年防犯ベルを贈呈しています。

広報紙は年2回発行しまして、9月と3月に発行しております。これも非常に好評を得ております。

令和5年度に新しくやるものは「カーリンコン大会」、これを5月に開催しました。32名が集まりまして、最初にしては盛り上がりましたので、できれば次年度も引き続き実施したいと思っています。また、お茶の間「らっくり」も引き続き実施したいと考えています。

これからも昨年実施したことを中心にしながら、新しいものを加えてやっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

(相田主事)

ありがとうございました。

続きまして、東青山小学校区です。川村委員、お願いいたします。

(川村委員)

お世話になります。東青山小学校区コミュニティ協議会の川村でございます。よろしくお願いします。

今、私どもの中心となっているのは東青山小学校での活動です。私どものコミュニティ協議会の部分については、ありがたいことにイオン青山店の中に事務局を設けさせていただいて、そこに広場があります。ですので、いろいろな活動をさせていただける場所があるというのはありがたいことです。ただ、毎年させてもらっている中においても、なかなか参加者を上げていくというのが難しい。例えば、一つは「すくすく広場」という、子育て世代の方をお招きして月2回午前2時間させてもらうのですが、スタッフに来ていただくのもなかなか人数が限られてしまって来ていただく人が少ない。もっとPRしたいということもあるのですが、そういう意味では、これからもっと一つ一つを含めて深掘りをした地域の活動をしていきたいと思っています。私は昭和27年生まれなので、団塊の世代の終わり頃なのですが、小学校の頃には、こども会も子どもで活動をさせてくれと言ってやっていたような覚えがあって、黙っていても人はたくさん集まってくるという時代があったのを覚えているので、今、切ないなという感じがしています。ただ、させてもらうとさせても

らっただけ苦勞を知るのですけれども、楽しいというのがやってみて分かってくる、そのように思っていますので、毎年新しいことに挑戦するというのもそうですけれども、深掘りで人を巻き込んでいくという気持ちで進めていきたいと思っています。ありがとうございました。

(相田主事)

続いて次のページ、五十嵐小学校区です。岩城委員、お願いいたします。

(岩城委員)

五十嵐小学校区です。よろしくお願いいたします。

昨年度、だいぶコロナも落ち着きをみて、今年度、特に夏祭りなどは、すべての自治会が実施することができました。特に新しいこととしては、昨年は防災訓練を五十嵐中学校にて行い、成功したと感じています。単なる訓練ではなくて、子どもたちが段ボールベッドを組み立てたり、スリッパを作ったり、よかったのではないかと思います。

地域の茶の間では、うちの自治会でもやったのですが、スマホ教室が意外と好評でした。特に70代・80代のスマホ文化が分からない女性の方に好評で、今まで来ていなかった方もかなり参加していました。うちの自治会では1月から5月までに2回やりましたが、2回とも大好評でした。

私はコミュニティ協議会で事務局長もやっておりますけれども、自治会によって取り組みにすごく差があるのです。様々な取り組みをほぼやり尽くしたという自治会もあれば、反対に全然取り組まないという自治会もあって、世帯数、それから自治会館をもっているかどうか、この辺が決定的に大きな差になっていると思います。戸数でいうと、大きいのは650世帯ある自治会もあれば、30世帯しかない自治会もあるので、この辺の差をどうするかというのが、コミュニティ協議会としては頭の痛いところです。そういうことを考えながら、何とか今年もそこにスローガンとして出ているように、支え合って助け合うまちを目指して今年度も活動していきたいと考えております。簡単でございますが、ご報告しました。ありがとうございました。

(相田主事)

ありがとうございました。

続きまして、次のページの真砂小学校区ですが、佐野委員が欠席のため、社会福祉協議会よりご報告させていただきます。

(鍋谷課長補佐)

真砂小学校区のエリアでは、「ひとりのために みんなのために 支え合い 安心して暮らせる地域づくり」をスローガンに取り組んでいます。真砂地域で特徴的なのは、友愛訪問という高齢者のお宅を地域のボランティアや民生委員が訪問する活動があるのですが、全部の自治会が取り組んでいるという特徴があります。また、去年はNPOと協力して高齢者のお宅などに「絆弁当」「絆うどん」を配布して見守り活動を行ったそうです。また、明倫短大という短大がありまして、以前から交流があったのですが、今回も小学校と地域の文化祭と短大の文化祭を同じ日にして、エリアまるごと文化祭を計画していたのですが、残念ながらコロナで中止になりました。

今年度は、日常のちょっとした困りごとを気軽に頼める仕組みづくりができるといいという話ですとか、短大生と組んでデジタルツールを活用して地域の何かに使えないかという話もしたいということでした。

真砂については、以上です。

(相田主事)

ありがとうございました。

続いて、次のページです。青山小学校区です。五十嵐委員、お願いいたします。

(五十嵐委員)

私たちの地域は、民生委員が民生員同士で非常に仲がいい地域で、何かあると部会を行い、自治会とコミュニティ協議会の行事にいつも協力していると感じです。コロナでいろいろなことができなくなってしまいましたが、ずっと続けてきた高齢者の健康体操は、コロナ対応をしながら休まないで続けることができたということがよかったです。

それから、コミュニティ協議会の認知症講座は非常によかったなと思っています。友愛訪問なども、一人暮らしを対象に行っておりますが、とても大事だなと。簡単な日頃の声掛けにより、誰かが心配してくれているという安心感で、一人暮らしを続けていける。声掛けと励まし頑張るきっかけになると感じています。

(相田主事)

ありがとうございました。

続いて、次のページの小針小学校区です。藤本委員、お願いいたします。

(藤本委員)

小針小学校区の藤本といたします。よろしくお願ひいたします。

うちの校区では、20の自治会の中の寄り合い場所、それが小針コミュニティ協議会になっております。その中で、私たちのスローガンは、「みんなで育てよう生きる力～このまちに住んでよかった小針～」ということを書いて仕事をしてきたのですが、皆様にご承知のとおり、コロナという関係もありまして、皆さんの生の声は聞けなかったのですが、皆さんにアンケート用紙、手紙で往復していただきまして、返事をいただいております。

令和4年度の取組なのですが、1番の「未来につなぐ地域のネットワークづくり」、いろいろなことが書いてありますけれども、これは小針小学校の4年生が、先生が本当に高齢者のことに理解がありまして、子どもたちも自分たちでやれることは何かあるのではないかとということで、3年目で世界一いいお茶の間づくりをしようということで、今年も実施しました。地域の高齢者の方に集まっていただきまして、成功裏に終わりました。

2番目の「すこやかな子育てを支えるまちづくり」、こばりっ子かくし芸大会は毎年12月に行っているのですが、昨年度はコロナの関係で出演者が少なかったのです。コロナが5類になったので、今年は期待しています。

3番の「笑顔で助けあえるまちづくり」、健康福祉部会というところでコミュニティ協議会主催の公民館との共催で、包括支援センターとJAの医療センターの協力を得まして、健康福祉医療相談という形で研修会を行っております。昨年度は、包括支援センターに介護のことについて講演いただきました。今年は、10月28日(土)なのですが、医療センターで高血圧の話をしていただくことになっております。高血圧からくるいろいろな病気の成り立ちというのでしょうか、そういう引き金は何なのかということで、医療センターの樋口先生からお話をいただくことになっております。

それから、「安心安全のまちづくり」、これは、毎年そうなのですが、セーフティスタッフから子どもたちの見守りをいただいております。

今年度やりたいことは、コミュニティ協議会として、盲導犬について少し知ってもらいたいということで計画をしております。

地域の防災訓練、自分たちはどのような災害を懸念したらいいのか、どのようにするかということを進めております。

世代間交流ということになりますと、なかなか若い人たちが入ってこない。では、どうするかということになると、やはりお祭りというのが皆さん寄って来ますので、祭りをきっかけに多世代交流ができたらいかなと思って、それを皆さんと一緒に相談しながら小針はやっていきたいと思っております。以上です。

(相田主事)

ありがとうございました。

続いて、黒崎南小学校区です。保苺委員、お願いいたします。

(保苺委員)

よろしくお願いいたします。

黒崎南小学校区は、4地区の自治会が構成されているところです。皆さんお分かりかと思いますが、農業中心で、高齢者が非常に多くて、子どもが少なく、そして核家族が多く、新しく入居してくる方が少ないというまちです。そのようなところで私たちに何ができるのかというところの目標は、「住民が支えあい明るく安心して暮らせる地域づくり」ということで、いろいろなことをやっております。南小学校区全体というよりは、それぞれの地区ごとでいろいろな形でいろいろな活動を展開していると思います。

特徴的なことは、例えば安心という面では、大雪が降っても、皆さん農家が多いのでトラクターを持っています。ですので、除雪車が来る前に大体みんなきれいに除雪をしてくれているし、それから子どもたちが通学するところもみんな除けてくれるということが本当にありがたいなど、私の子どもが小さいときにはそのように思っておりました。また、最近は、アプリを使ってごみ拾いということで、テレビでも放映されましたけれども、そのようにやっているまちというところもあったりして、それぞれの地区でいろいろなことを活動しています。

今年度もそうなのですが、多世代というところで、若手有志の活動と書いてありますけれども、実は2年前、花火を黒鳥という本当に小さな地区だけで花火を上げました。これは、園長先生と有志だけで、子どもたちがコロナで寂しいよねと、何も行事がなかったよねと、ではやろう、ということで、本当に小さな花火を上げたのです。それがすごくよくて、どんどん地域の人たちも何か担当するよと、ではそれだったらふれあい協議会がバックアップするよとなり、今年はいろいろな形でふれあい協議会もそこの中に入って盛り上げていこうと考えています。若手の提案を若手だけでやるのではなく、そこに地域の人たちが入っていかうとする考えはとてもいいなと思っております。

(相田主事)

ありがとうございました。

続いて次のページ、立仏小学校区です。解良委員、お願いいたします。

(解良委員)

立仏小学校区の解良です。よろしくお願いいたします。

私も今年から初めてやりますので手探り状態でのすけれども、一昨年でしょうか、地域の立仏校区に限りなのですが、「なじらね隊」というものを立ち上げた方がおりまして、そこに私も最初から参加しているのですけれども、先日、ゴミ出しを行っていたところ、もうごみ出しをしなくてもいいと言われました。理由を聞きましたら、近所の方が見ていて、「なじらね隊」に頼むのだったら、私がいつも出すのだから一緒に出すよと言ってくれたと。まさしくこれが「なじらね隊」の目標だと思いました。地域の目が皆に向いたことがすごく嬉しかったことを覚えております。どんどん歳を重ねていって、自分たちが「なじらね隊」に頼まなければならないような年代に入っているというのが現状なので、なかなか難しいのですけれども、もう一世代若い人たちに参加していただけるといいなと思っているのです。需要もけっこうありまして、広がっているのですけれども、手がなくてそれはできませんということがなかなか言いつづらくなってきていますので、そういう地域活動を行っております。以上です。

(相田主事)

ありがとうございました。

続きまして、山田小学校区です。阿部委員が欠席なので、社会福祉協議会より説明させていただきます。

(鍋谷課長補佐)

山田小学校区では、懇談会が短時間しかとれなかったため、令和5年度にどのようなことに取り組みたいか、右側に重点をとって話し合いが行われました。スローガンは、「誰もが安心して暮らせる思いやりのある地域づくり」です。①番からは、コロナ前から話があったのですが、こども食堂を実施しようという話がありました。これを、コロナも減っていることだし、実施しようという話がありました。また、自治会単位ですが、高齢者世代のごみ出し支援ですとか、家の前の除雪なども支援の取り組みを始めようという話がありました。

②番のカラオケ大会ですが、これは山田地区恒例の大会でして、継続しようとなっています。また、地域芸能の「やきふな太鼓」というものがあるのですが、多世代交流に活かせるのではないかということで、活動への発展の話が出ていました。以上です。

(相田主事)

ありがとうございました。黒埼の大野小学校区は、昨年度地域の懇談会が開催できず資料が完成できていないということで、資料の中には入っておりませんので、ご了承ください。今年度は必ず懇談会を実施できればと思っております。

皆様からの発表、ありがとうございました。

～グループワーク～

- ・ 議題（２） グループ内自己紹介
- ・ 議題（３） 令和４年度の課題
- ・ 議題（４） 令和５年度の課題

◇次第３ グループワーク 議題（５）全体発表

（１グループ）

それでは、令和４年度の課題、取組を踏まえた課題ということでは、かかわりあいの仕組みづくりを継続していくことや、高齢化への対策ということがやはり今後の課題だという意見ができました。例えば友愛訪問の際の、自治会長と民生委員の連携がとれていないとか、民生委員同士の連携がとれているところととれていないところがあるというようなこともありましたし、民生委員自体が次の世代の方がいないとか、自治会長もなり手がいないというような根本的なところにも課題があることが上げられました。

今後の取組としましては、やはり福祉活動に力を入れていきたい。高齢者のニーズがあるスマホ教室であるとか、実際に助けてと言えるような関係づくりとといいますか、そういう仕組みがあっても実際にそういう状況に陥ったときに、自分が助けてと言えるような状況を地域や自治会でつくりだしていくということが必要ではないだろうかということで、それに関する取組に力を入れていきたいというような話もありました。また、高齢化の問題とともに次世代の育成ということで、地域の特性、地域を強くしていく、地域を高めていくということでは、小学校を核とした地域づくりというのも一つポイントになるのではないかという話もありました。

また、西新潟中央病院の浅妻様からは、病院と地域がどのようにかかわっていくかということで、例えば栄養相談であるとか、保育相談、または植物をとおしたような形で、地域とのつながりを今までもつくってきたということをご報告いただきました。災害時などには、病院との連携というのは非常に大切になるかと思うのですが、例えばこのコロナの状況を踏まえて、今後どのような関係性を地域とつくっていけるのかは、さらに考えていき

いというようなお言葉をいただきました。以上です。

(相田主事)

ありがとうございました。続いて2グループ、よろしくお願いします。

(2グループ)

2グループです。まず、令和4年度に特に感じた課題というところなのですけれども、若い人の参加者が少なく、若い人の意見を取り入れられるような仕組みづくりが大事ではないかというようなところから様々な話が発展しまして、参加するにも仕事を休むのは大変だとか、PTAなどでも子どもたちのことで大変なのに、ではそれをどうするのだというような話が出てきました。同じこの西区といっても地域ごとにみんなそれぞれが違う課題や特性をもっているんで、コアの者が少し頭にアンテナを張りながらやることが一つ大事ではないかということの話になりました。

それから、小学校区、中学校区と言っても、そこに自治会というものが入ってくる。その自治会とふれあい協議会の違いも問題になってきて、例えば何かをするにあたっては、お金の問題がかかってきます。区から補助金をもらおうというときに、自治会でないとだめだとか、コミュニティ協議会でないとだめだとかあるので、できるのなら行政はもう少しじっくりしてもらえると嬉しいというような話も出ました。

また、地域コーディネーターが各小学校、中学校には配置されている。そこを活用しない手はないよねという話がでました。地域全体でやるには、赤ちゃんから、子どもから、お年寄りからすべてになると、やはりそこは学校を巻き込まなければいけないのではないかな。そのためには、コーディネーターがすごく重要で、コーディネーターに子どもたち、学校、地域を巻き込むような企画をしてもらい、私たちも企画する、そういうものがあるともっといいのではないかなという話も出ました。

あとは、取組についてですけれども、何かをやるにしてもどういう課題があるのかということ企画する人が分かっていないとだめだよねと。自分はこのような企画をやりたい、例えば西内野みたいに防災のことをやりたい、と言っても住民の意向を取り入れなければいけない。どうまとめて一つの企画をするかというようなことのコーディネートがとても大事になってくるし、令和5年度の取組にはならないかもしれませんが、そのような企画を考えていきたいという話になりました。以上です。

(相田主事)

2グループ、ありがとうございました。

続いて3グループ、お願いします。

(3グループ)

3グループです。いろいろ話し合いをやりましたけれども、大きな課題としては、やはり担い手をどうこれから確保していくのかということが大きい課題として出てきました。黒埼のように、小学生がいれば、自然発生的に除雪も済んでしまうと。だから、関心がないのではなくて、何か、例えば子どもたちを巻き込んでやればとか、そういう何かきっかけをもってやっていけば、そういうことにも、担い手の確保の一助にもなっていくのではないかと。また、同じ会議をやるにしても、平日の昼だけではなく、土日、また夜を使って関心のある若手を掘り起こすのも、それも一つのやり方ではないかという話が出ました。

これは大きな課題ですけれども、今はなかなか価値観も多様化しているし、働き方も非常に多様化している。そういう社会の現状の中にあって、なかなか一つの行事をやっていくというのは、益々難しくなっているのではないかと。だから、小中高、いろいろな立場から一緒になって、何か気づいていく。それぞれの立場ではなく、一緒に全員で盛り上がる何かしらの祭りみたいな、そういうものを考えていく。多様化という中で、どのようにやっていくのかというのが、これからの大きなキーワードになっていくのではないかとというようなことを感じました。終わります。

(相田主事)

ありがとうございました。

最後に、4グループ、お願いします。

(4グループ)

それでは4班ですが、令和4年度、特に感じた課題についてです。ごみ収集事業について、それぞれコミュニティ協議会で行っていますが、比較的スムーズにその事業がうまくいっているところもありますけれども、課題なのは世代交代をどうやっていくか。これはごみ出し収集事業だけではなくて、すべての事業に関係することだと思いますけれども、一方、ボランティアでやっている人も、例えば車に乗せて病院に連れて行くというようなケースもあるのですが、待ち時間とか、受付から全部の治療が終わるまでの長時間になっている。一緒にいるのはなかなか大変だというようなこともあるようです。そういう点については、少額ではありますけれども、有償ということで多少の手当を設けているというところもございませ

た。スタッフの高齢化、世代交代については、これはすべてに共通しますが、対策としては、やはり多世代交流といますか、そういう場面を多くつくることによって、子ども、若い人、高齢者が集まってくれば、その場でいろいろな話ができ、次に少しずつつながっていくのではないのでしょうかということでございます。

令和5年度、地域で取り組んでいきたいことについては、これは令和4年度でもお話ししたように、多世代交流という点からさまざまな団体に声を掛けて、バザーとか、ステージのイベントとか、いわゆる小さなお祭りのようなものを今計画しているところです。そこで皆さんが来てよかったなというようなものをつくっていきたい。もう一つは、民生委員との情報交換の開催について、自治会長、自治会の役員との、あるいは友愛訪問員と三者で、それぞれ情報交換会を開催して、民生委員のなり手不足解消につなげていきたい。令和5年度は、多世代交流、自治会民生委員、友愛訪問員との情報交換会の開催を活発に行っていきたいです。以上でございます。ありがとうございました。

(相田主事)

ありがとうございました。どのグループも担い手問題についての話題が出ていました。私が聞いていて印象に残ったのが、休日にあえて事業、イベントをやってみたり、小学校と連携したり、そういうところで皆さんがいろいろ工夫されているのだなというところで、私もいろいろ気づきがありました。ありがとうございます。

最後に私から、今年度も1月から3月、各地区で昨年度と同様に今年度取り組んだことと課題や来年度に取り組みたいことについて話し合う地区の懇談会をコミュニティ協議会主催で開催できればと思っております。社会福祉協議会からご案内を出したいと思っております。推進員の皆様に今後ともご協力いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

◇次第4 閉会

(須貝係長)

皆様、長時間にわたるグループワークお疲れ様でした。

それでは、最後に全体総括といたしまして、岩城副委員長よりお話をいただきたいと思います。岩城副委員長、よろしくお願いいたします。

(岩城副委員長)

どうも皆さん、長時間に渡って熱心な協議をしていただきまして、本当にありがとうございます。毎回感じることですけれども、いろいろな取組があつて感心します。今回面白い

など思ったのは、小針の世界一の茶の間、ちびっこかくし芸大会、なかなかネーミングがいいですね。やはりちょっと行ってみたいなという感じがします。それから、今年あたりを見ていると、夏祭り、大体今までやっていた自治会は復活しましたね。ということは、やはり意外と復元力があるんですね。コロナで大体のところは3年間中止だったと思いますけれども、3年間中止して、ではどうだと言ったら、また割とそれなりの苦労はあったのでしようけれども、きちんとお祭りができてしまう。ほかの地区は分かりませんが、西区はなかなか大したものだと、住んでいる地域に感心しました。 ということで、いろいろ感じるところがございましたけれども、今日は実りが多い協議でした。どうもみなさん、ありがとうございました。

(須貝係長)

ありがとうございました。

以上で「令和5年度 第2回 いきいき西区ささえあいプラン推進委員会」を終了いたします。皆様、長時間にわたり大変お疲れ様でした。お足もとにお気をつけてお帰り下さい。